

MO及びフロッピーディスク
各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	コントロールレコードを示す1を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	ボリューム通番	数字	3	ボリュームに対して付与する番号 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番(1から始まる通番)を設定
4	レコード件数	数字	9	データレコードの件数を設定(コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない) マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する
5	データ種別	英数	3	交換情報の交換情報識別番号の上3桁を設定 ファイル内に複数の交換情報識別番号のデータレコードがある場合は、最初のデータレコードの交換情報識別番号の上3桁を設定する
6	福祉事務所特定番号	数字	2	送付元または送付先が福祉事務所の場合は12(法別番号)を設定、福祉事務所以外の場合は0を設定する
7	保険者番号	英数	6	送付元または送付先が保険者の場合は保険者番号、福祉事務所の場合は福祉事務所番号を設定、保険者(福祉事務所)以外の場合は0を設定する
8	事業所番号	数字	10	送付元または送付先が事業所の場合は事業所番号を設定、事業所以外の場合は0を設定
9	都道府県番号	数字	2	送付元または送付先が都道府県の場合は都道府県番号を設定、都道府県以外の場合は0を設定
10	媒体区分	英数	1	2(MO)または4(FD)を設定
11	処理対象年月	数字	6	データの処理対象年月を設定する (例)2000年4月の場合、200004を設定する
12	ファイル管理番号	数字	6	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ 作成するファイル単位に一意的値を設定(分割された複数のファイルは全て同じ管理番号となる)
13	ブランク	英数	2	改行(16進コード...0x0D0A)を設定

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	レコード種別	数字	1	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号(連番)	数字	9	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	データ			交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照
4	ブランク	英数	2	改行(16進コード...0x0D0A)を設定

シングルファイルボリュームのファイル構造

コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1
	ボリューム通番 : 0
	レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 99
エンドレコード	レコード番号 : 100
ファイル	

シングルファイルボリューム

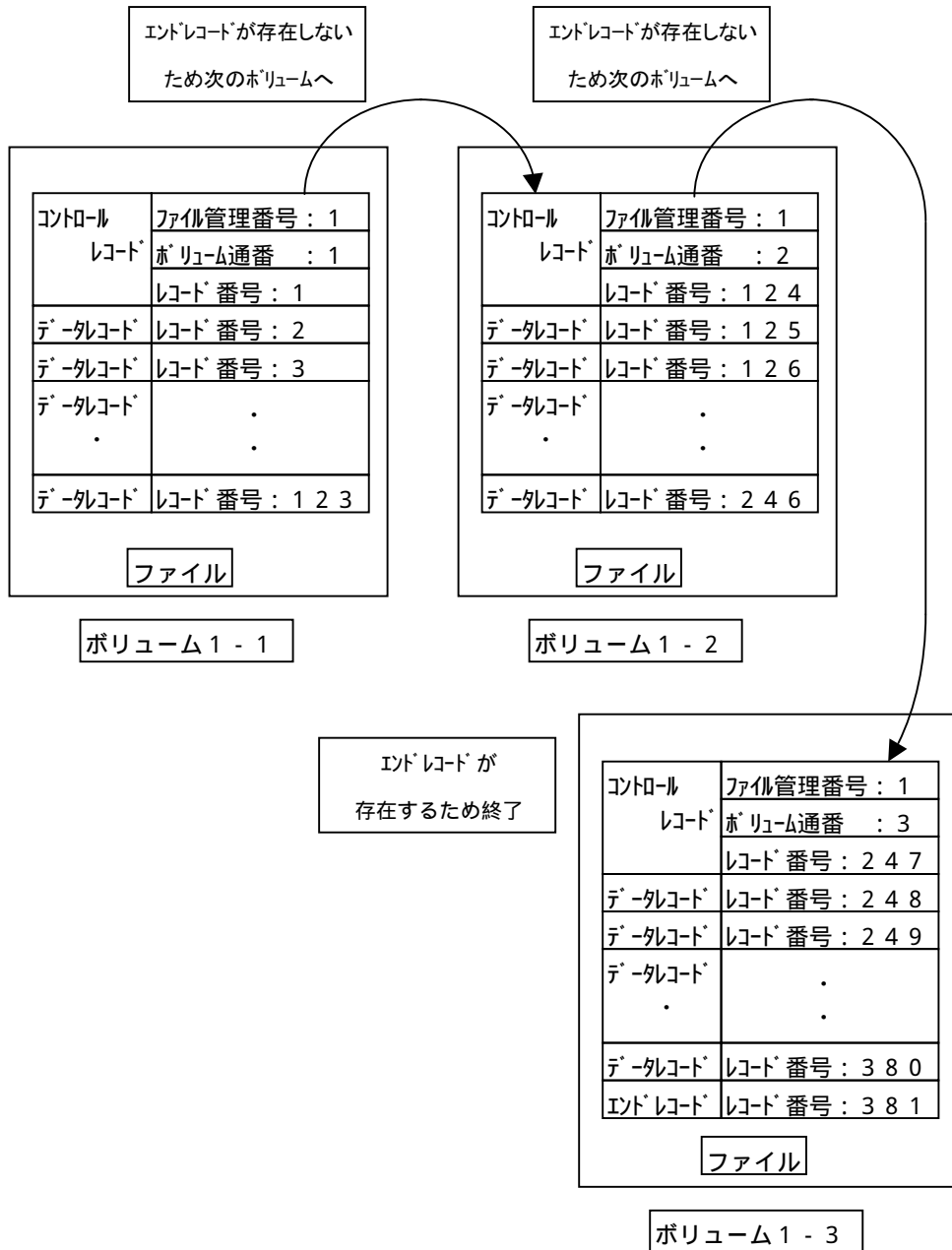
マルチファイルボリュームのファイル構造

コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1	コントロール レコード	ファイル管理番号 : 1
	ボリューム通番 : 0		ボリューム通番 : 0		ボリューム通番 : 0
	レコード番号 : 1		レコード番号 : 1		レコード番号 : 1
データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2	データレコード	レコード番号 : 2
データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3	データレコード	レコード番号 : 3
データレコード .	.	データレコード .	.	データレコード .	.
データレコード	レコード番号 : 38	データレコード	レコード番号 : 81	データレコード	レコード番号 : 73
エンドレコード	レコード番号 : 39	エンドレコード	レコード番号 : 82	エンドレコード	レコード番号 : 74
ファイル		ファイル		ファイル	

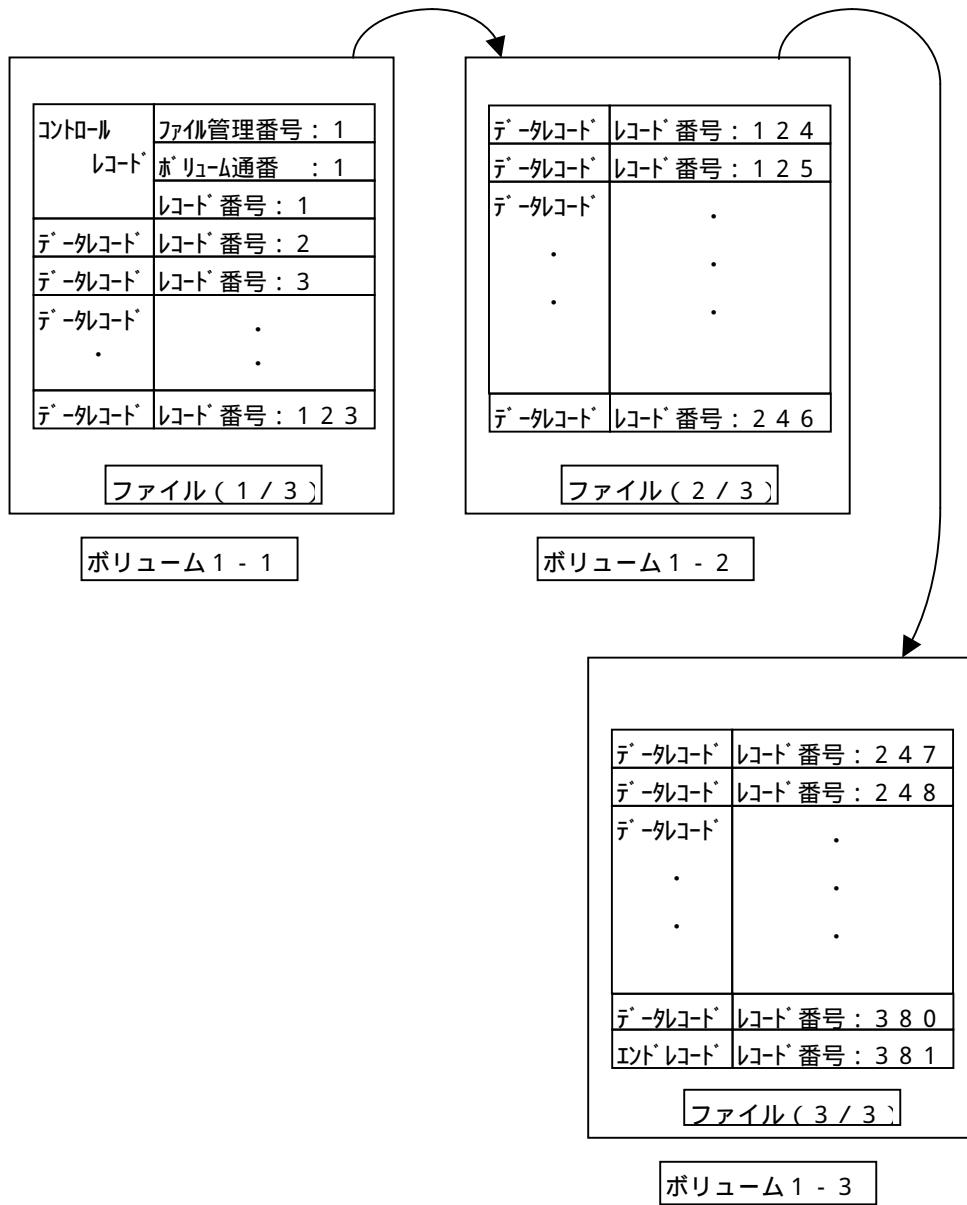
マルチファイルボリューム

マルチボリュームファイルのファイル構造

・フロッピーディスク及びMOの場合



・MTの場合



(5) MTラベル形式

交換情報を格納するMTは以下のラベル形式(JIS X0601に準拠)をもつ。

シングルファイルボリュームのラベル形式

1つのファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

TM:テープマーク

マルチファイルボリュームのラベル形式

1つ目のファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----

----- (1つのボリューム内) -----

ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

最後のファイル

マルチボリュームファイルのラベル形式

1つのファイル

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ボリューム 終わり ラベル1 (EOV 1)	ボリューム 終わり ラベル2 (EOV 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	---------------------------------	---------------------------------	----	----

・

・ (複数のボリューム)

・

1つのファイル (続き)

ボリューム 見出し ラベル (VOL 1)	ファイル 見出し ラベル1 (HDR 1)	ファイル 見出し ラベル2 (HDR 2)	TM	データ部	TM	ファイル 終わり ラベル1 (EOF 1)	ファイル 終わり ラベル2 (EOF 2)	TM	TM
--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------	----	------	----	--------------------------------	--------------------------------	----	----

※最後のボリュームのみラベル形式が異なる。

・ボリューム見出しラベル(VOL1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“VOL1”を設定
2	ボリューム識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
3	ボリュームアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
4	予備	英数	13	スペースを設定
5	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
6	所有者識別名	英数	14	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	予備	英数	28	スペースを設定
8	ラベル規格番号	英数	1	本システムでは使用しないためスペースを設定

・ファイル見出しラベル1(HDR1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	数字	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	数字	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代: “_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代: “0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、000092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	英数	6	000000を設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル見出しラベル2(HDR2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“HDR2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ファイル終わりラベル1(EOF1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、00092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を00001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ファイル終わりラベル2(EOF2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOF2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	ブロック化の有無を設定 スペース：ブロッキングしていない “B”：ブロッキングしている
12	予備	英数	41	スペースを設定

・ボリューム終わリラベル1(EOV1)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV1”を設定
2	ファイル識別名	英数	17	ファイルの識別名を左詰で設定
3	ファイルセット識別名	英数	6	ボリュームの識別名を左詰で設定
4	ファイル分割番号	数字	4	複数ボリューム内でのボリュームの通番を0001～9999で設定
5	ファイル順序番号	数字	4	ボリューム内のファイルの通番を0001～9999で設定
6	世代番号	英数	4	本システムでは使用しないためスペースを設定
7	世代更新番号	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	作成日付	数字	6	ファイルの作成日を以下の形式で設定 1900年代：“_yyddd” (_:半角スペース) 2000年代：“0yyddd” (0:半角ゼロ) yy:西暦年の下2桁を数字00～99で設定する ddd:年間を通した通算の日付を1月1日を001とした数字001～366で設定する (例)2000年4月1日の場合、00092を設定する
9	満了日付(有効期限日)	数字	6	本システムでは使用しないため任意の値を設定
10	ファイルアクセス条件	英数	1	スペース(制限無し)を設定
11	ブロック数	数字	6	ファイルに格納されているブロック数を00001～999999で設定
12	処理システム識別名	英数	13	本システムでは使用しないためスペースを設定
13	予備	英数	7	スペースを設定

・ボリューム終わリラベル2(EOV2)

項番	項目	属性	バイト数	内容
1	ラベル標識	英数	4	“EOV2”を設定
2	レコードフォーマット	英数	1	“F”(固定長レコード形式)を設定
3	ブロック長	数字	5	ブロック長をレコード長の整数倍で00001～32000で設定
4	レコード長	数字	5	論理レコード長を00001～32000で設定
5	記録密度	英数	1	書き込み密度を設定 3:1600bpi 4:6250bpi
6	データセットポジション	英数	1	0を設定

項番	項目	属性	バイト数	内容
7	ジョブ/ジョブステップ標識	英数	17	本システムでは使用しないためスペースを設定
8	テープ記録方式	英数	2	本システムでは使用しないためスペースを設定
9	印刷制御コード	英数	1	スペースを設定
10	予備	英数	1	スペースを設定
11	ブロック属性	英数	1	スペースを設定
12	予備	英数	41	スペースを設定

(6) 文字コード

JISコード

次の文字コード規格に準拠する。

JIS X0201

JIS X0202

JIS X0208-1997

JIS X0212-1990

シフトJISコード

Windows標準で使用されているコード体系(JIS X0208の漢字文字集合を未使用領域にシフトさせたコード体系)に準拠する。

外字

交換情報の被保険者等名及び住所の項目に外字が含まれる場合は、外字部分の文字コードをシフトJISの外字コードに変換して格納する。

ただし、審査支払等システムでは全ての外字を取り扱い対象外とするため、当該データが印字対象となる場合はこれをスペースに置き換えて印字し、「外字空白印字リスト」によりこの処置を通知する。

したがって、審査支払等システムで外字を印字する場合は、保険者等と国保連合会との間で外字コードの取り扱いについての調整が必要となる。

※外字コード

シフトJISコード上での外字コード領域には、16進コード…0xF040～0xF9FCの範囲で2バイト目が16進コード…0x40～0x7E及び0x80～0xFCの1880文字が割り当てられている。

(7) 特記事項

CSV形式ファイル

- ・各レコードは可変長レコードとし、レコードの終わりには「改行コード(16進…0x0DOA)」を設定する。
- ・各項目間には区切り(セパレータ)として「カンマ(16進コード…0x2C)」を設定する。
- ・英数属性および漢字属性の項目はデータの両側を「ダブルコーテーション(16進コード…0x22)」で囲む。ただし、各項目の内容に「カンマ」、「ダブルコーテーション」、「スペース(16進コード…0x20)」および漢字(2バイトコード)を含まない場合は、データの両側の「ダブルコーテ

ーション」を省略することができる。

- ・英数属性の項目の内容に「ダブルコーテーション」を含む場合は、2つの「ダブルコーテーション」を連続して設定する。(1文字の「ダブルコーテーション」として扱われる。)
- ・数字属性の項目の内容がゼロの場合は、「ゼロ(16進コード…0x30)」を設定する。
- ・各レコードには「改行コード」および漢字(2バイトコード)を除き、16進コード…0x00～0x1Fの文字を使用しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、データを省略して「カンマ」を連続させる。
- ・全ての桁に意味のある項目の場合は、内容に含まれるスペース、ゼロ等を省略しない。

固定長形式ファイル

- ・各レコードは固定長レコードとし、ファイル中最大のレコードフォーマットの長さに合わせてレコードの終わりにスペースを設定する。
- ・各項目間には区切り等をつけず、「バイト数」で示された固定長毎に項目値を設定する。
- ・漢字属性の項目には漢字シフトコードを付加しない。
- ・項目の入力を省略する場合は、英数属性の項目はスペース、数字属性の項目はゼロ、漢字属性の項目は漢字スペースをそれぞれ項目の長さに応じて設定する。

3.2.2 磁気媒体作成上の留意事項

(1) 全般

- ・磁気媒体上のファイル名については、審査支払等システムではチェックの対象外。ただし、原則として同一月の交換情報としては同一ファイル名は使用せず、送付元で識別できる名称とする。
- ・保険者と事業者、異なる保険者及び異なる事業所からの情報を1枚(1巻)の媒体に混在させてはならない。
(例) 保険者が居宅サービス事業所として請求明細等を提出する場合も別媒体にして提出する。
- ・事業所が他の事業所の媒体作成(送信)を代行して行う場合は、事業所毎に媒体を作成する。
- ・同一保険者または同一事業所から異なる様式の情報を同時期に提出する場合は、1枚(1巻)の磁気媒体に混在させることも可能とする。

(2) MT

- ・媒体の送付時は、送付票と併せて媒体内に格納されているファイルの一覧を添付する。
- ・オープンリールMT(JIS X6104、JIS X6105)は日本工業規格で幅12.7mm、9トラック仕様の標準テープを使用する。
- ・JIS X0601は日本工業規格で一般的に用いられている構成。
- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。
- ・EXCELファイル形式のデータ交換には使用できない。

(3) MO及びフロッピーディスク

- ・媒体エラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送付を行う。

3.2.3 伝送使用上の留意事項

(1) エラー時の対応

- ・伝送したファイルの読み込みエラー及びデータフォーマットエラーが通知された場合は、データの再作成、再送信を行う。

(2) セキュリティ

- ・国保連合会と接続した機器及びLAN環境を同時に他のネットワークに接続しない。(ネットワーク同士の相互乗り入れを前提としたLAN間接続は行わない。)
- ・国保連合会との接続は、登録した電話番号から行き、各々のサービス事業所等に交付された事業所IDとパスワードによる認証を使用する。
- ・事業所IDは、請求及び受領に関する事業所届出時に請求方法が伝送の場合、国保連合会より払い出される。
- ・パスワードは、事業所IDの払い出し時に国保連合会側で設定されるが、最初の接続時にサービス事業所側の責任で任意な値に変更するものとする。パスワードの定期的変更はサービス事業所の責務とする。
- ・パスワードを忘失した場合は、迅速に国保連合会に届け出、再発行等の処置を受ける。

3.3 表記法

3.3.1 インタフェース一覧の表記について

(1) インタフェース一覧の内容

交換情報の一覧を表す。

項番

- ・業務毎の「項目説明」における各交換情報への対応を表す。

識別

- ・交換情報識別番号を表す。

情報名

- ・交換情報の情報名を表す。

内容

- ・交換情報の内容を表す。

ルート

- ・交換情報の送付元および送付先を表す。

周期

- ・情報交換の周期(月次、日次等の区別)または送付時期を表す。

媒体

- ・交換情報の送付媒体を表す。

出力形式

- ・国保連合会が送付する交換情報の出力形式を表す。

CSV : 伝送または磁気媒体にCSV形式(MTの場合は固定長形式)で出力可能な場合は“○”で表す。

EXCEL : 伝送または磁気媒体にEXCELファイル(Excel97)形式で出力可能な場合は“○”で表す。

帳票形式 : 帳票(紙媒体)として出力可能な場合は“○”で表し、出力される用紙の種別(汎用紙/専用紙)とサイズ等を付記する。

3.3.2 項目説明の表記について

(1) 項目説明の内容

交換情報のデータレコードに「データ」として設定する項目の内容を表す。

項番

- ・項目の連番。

CSV形式で交換情報を作成する場合は、この単位でデータの区切り(カンマ)を設定することを表す。

項目名

- ・項目名を表す。

属性

- ・特に記載が無い限り、以下の形式でデータを設定することを表す。

英数 : 半角の英字、数字、カナ文字1文字をそれぞれ1バイトで表す。半角の英小文字は使用できない。

固定長形式で設定する場合は、左詰で残りはスペースで埋める。

数字 : 0, 1, 2, ~, 9の数字1桁をそれぞれ1バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、右詰で左側はゼロで埋める。

漢字 : 漢字1文字をそれぞれ2バイトで表す。

固定長形式で設定する場合は、漢字シフトコードを付加しない左詰とし、残りは漢字スペースで埋める。

- ・「英数」項目には漢字(2バイトコード)を混在させない。

- ・「漢字」項目には半角の英字、数字、カナ文字(1バイトコード)を混在させない。

バイト数

- ・設定するデータの長さをバイト数で表す。

- ・CSV形式の場合は項目の最大長、固定長形式の場合は項目長(固定長)を表す。

内容

- ・設定する項目の内容を表す。

必須入力

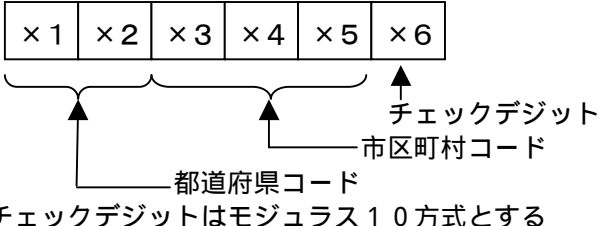
- ・入力が必須の項目を“○”で表す。

- ・特定の条件により入力が必須となる場合は、条件のマトリックスまたは注記として表末に記述する。

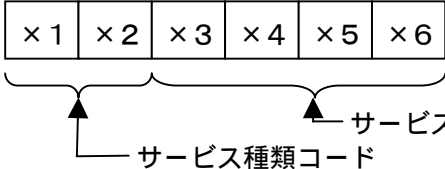
備考

- ・設定するデータの形式、コード一覧の参照先等の特記事項を表す。

3.4 コード一覧

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
1	交換情報識別番号	英数	4	交換情報を識別するための番号	
2	異動区分コード	数字	1	1:新規 2:変更 3:終了	
3	異動事由	受給者異動事由	数字	2	01:受給資格取得 02:受給資格喪失 03:広域連合における受給者の市町村間異動(政令市における受給者の区間異動) 99:その他異動
		事業所異動事由	数字	2	01:固定値(省略可能)
		保険者異動事由	数字	2	01:固定値(省略可能)
		広域連合異動事由	数字	2	01:固定値(省略可能)
		市町村固有情報異動事由	数字	2	01:固定値(省略可能)
		市町村特別給付異動事由	数字	2	01:固定値(省略可能)
4	訂正区分コード	数字	1	1:(未使用) 2:修正 3:削除	
5	媒体区分コード	数字	1	1:伝送 2:MO 3:MT 4:FD (5:紙)	
6	保険者番号	数字	6	<p>介護保険の保険者番号</p>  <p>×1 ×2 ×3 ×4 ×5 ×6</p> <p>都道府県コード</p> <p>市区町村コード</p> <p>チェックデジット</p> <p>チェックデジットはモジュラス10方式とする</p>	
7	証記載保険者番号	数字	6	被保険者証記載の保険者番号 広域連合(政令市)の場合は市町村コード(行政区番号)	
8	市町村コード	数字	3	自治省にて定めるコード	
9	年号コード	数字	1	1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成	
10	保険者区分コード	数字	1	1:単独保険者 2:政令市 3:広域連合の保険者	
11	被保険者番号	英数	10	介護保険の被保険者番号 被保険者証記載の被保険者番号が10桁に満たない場合は右詰とし、左側を0で埋める 福祉事務所から提供される生活保護受給者については先頭の1桁を“H”とすること	
12	性別コード	数字	1	1:男 2:女	
13	みなし要介護区分コード	数字	1	1:通常の認定 2:みなし認定(旧措置入所者) 3:やむを得ない事由	
14	要介護状態区分コード	数字	2	01:非該当 11:要支援 21:要介護1 22:要介護2 23:要介護3 24:要介護4 25:要介護5	
15	居宅サービス計画作成区分コード	数字	1	居宅介護支援事業所作成又は自己作成の区分 1:居宅介護支援事業所作成 2:自己作成	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
16	減免申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み
17	申請種別コード	数字	1	1:新規申請 2:更新申請 3:変更申請 4:職権
18	変更申請中区分コード	数字	1	1:申請無し 2:申請中 3:決定済み
19	標準負担区分コード	数字	1	1:標準負担 2:特定標準負担
20	利用者負担区分コード	数字	1	1:利用者負担 2:旧措置入所者利用者負担
21	世帯所得区分コード	数字	1	世帯の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税世帯非課税者等 3:生活保護
22	所得区分コード	数字	1	個人の所得区分コード 1:低所得者等以外 2:市町村民税非課税者等 3:生活保護
23	老齢福祉年金受給の有無	数字	1	1:受給無し 2:受給有り
24	事業所番号	数字	10	介護居宅介護支援事業所、指定サービス事業所、基準該当サービス事業所の事業所番号 <p>都道府県コード 郡市区コード 通番 チェックデジット 事業所区分コード チェックデジットはモジュラス10方式とする</p>
25	受領委任の有無	数字	1	1: 受領委任契約無し 2: 受領委任契約有り
26	指定 / 基準該当等事業所区分コード	数字	1	1:指定事業所 2:基準該当事業所 3:相当サービス事業所 4:その他
27	法人等種別コード	数字	2	01:社会福祉法人(社協以外) 02:社会福祉法人(社協) 03:医療法人 04:民法法人(社団・財団) 05:営利法人 06:非営利法人(NPO) 07:農協 08:生協 09:その他法人 10:地方公共団体(都道府県) 11:地方公共団体(市町村) 12:地方公共団体(広域連合・一部事務組合等) 13:非法人 99:その他
28	居宅サービス区分コード	数字	1	1:訪問通所 2:短期入所

項番	コード名称	属性	バイト数	内容
29	サービス種類コード	数字	2	11:訪問介護 12:訪問入浴介護 13:訪問看護 14:訪問リハビリテーション 15:通所介護 16:通所リハビリテーション 17:福祉用具貸与 21:短期入所生活介護 22:短期入所療養介護(介護老人保健施設) 23:短期入所療養介護(介護療養型医療施設等) 31:居宅療養管理指導 32:痴呆対応型共同生活介護 33:特定施設入所者生活介護 41:特定福祉用具購入 42:住宅改修 43:居宅介護支援 51:介護老人福祉施設サービス 52:介護老人保健施設サービス 53:介護療養型医療施設サービス 81~:その他(市町村特別給付等)
30	サービスコード	数字	6	 <p>* サービス項目コードはサービスの内容・行為を表す</p>
31	福祉用具貸与種目コード	数字	2	01:車いす 02:車いす付属品 03:特殊寝台 04:特殊寝台付属品 05:じょく瘡予防用具 06:体位変換器 07:手すり 08:スロープ 09:歩行器 10:歩行補助つえ 11:痴呆性老人徘徊感知機器 12:移動用リフト
32	公費負担者番号	数字	8	
33	公費受給者番号	数字	7	
34	老人保健市町村番号	数字	8	
35	老人保健受給者番号	数字	7	
36	金融機関コード	数字	4	全銀協が定めたコード体系
37	金融機関支店コード	数字	3	全銀協が定めたコード体系
38	口座種目	数字	1	全銀協が定めたコード体系
39	口座番号	数字	7	全銀協が定めたコード体系
40	福祉用具購入費の種目コード	数字	2	01:腰掛便座 02:特殊尿器 03:入浴補助用具 04:簡易浴槽 05:移動用リフトのつり具の部分

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
4 1	施設等の区分コード	数字	1	サービス種類	内容
				訪問看護	1:訪問看護ステーション 2:病院または診療所
				通所介護	1:単独型 2:併設型 3:痴呆専用単独型 4:痴呆専用併設型
				通所リハビリテーション	1:通常の医療機関 2:小規模診療所 3:介護老人保健施設
				短期入所生活介護	1:単独型 2:併設型・空床型
				短期入所療養介護	1:介護老人保健施設 2:病院療養型 3:診療所療養型 4:痴呆疾患型 5:基準適合診療所型 6:介護力強化型
				特定施設入所者生活介護	1:有料老人ホーム 2:軽費老人ホーム
				介護老人福祉施設	1:介護福祉施設 2:小規模介護福祉施設
				介護療養型医療施設	1:療養型 2:診療所型 4:介護力強化型
4 2	人員配置区分コード	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容
				短期入所生活介護 単独型	1: 型 2: 型 3: 型
				併設型・空床型	1: 型 2: 型 3: 型
				短期入所療養介護	1: 型 2: 型
				介護老人保健施設	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型
				病院療養型	1: 型 2: 型
				診療所療養型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型
				痴呆疾患型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型
				介護力強化型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型
介護老人福祉施設	1: 型 2: 型 3: 型				
介護福祉施設	1: 型 2: 型 3: 型				
小規模介護福祉施設	1: 型 2: 型				
介護老人保健施設	1: 型 2: 型				
介護療養型医療施設	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型				
療養型	1: 型 2: 型				
診療所型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型				
介護力強化型	1: 型 2: 型 3: 型 4: 型				
4 3	地域区分	数字	1	1:特別区(12/100) 2:特甲地(10/100) 3:甲地(6/100) 4:乙地(3/100) 5:その他(加算無し)	
4 4	特別地域加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
4 5	緊急時訪問看護加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
46	特別管理体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
47	機能訓練体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
48	食事提供体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
49	入浴介助加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
50	特別入浴介助加算の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
51	送迎体制	数字	1	1:対応不可 2:対応可	
52	リハビリテーション体制の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
53	基準省令附則	数字	1	サービス種類 および 施設等の区分	内容
				短期入所療養介護 病院療養型	1:基準 2:第10条適用 3:第8,9, 11条適用 4:第7条適用
				介護療養型医療施設 療養型 診療所型	1:基準 2:第10条適用 3:第8,9, 11条適用 4:第7条適用 1:基準 2:第13,14条適用 3:第 12条適用
54	常勤専従医師配置の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
55	看護職員等勤務条件基準	数字	1	1:基準型 2:加算型 3:加算型 4:加算型 5:加算型 6:減算型 ただし、短期入所療養介護 診療所療養型および介護療 養型医療施設 診療所療養型の場合は未定	
56	平成10年省令	数字	1	短期入所療養介護 診療所療養型の場合 1:基準 2:第2,3条適用 3:第6条適用	
57	医師の配置	数字	1	1:基準 2:医療法施行規則附則第49条適用	
58	精神科医師定期診療の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
59	夜間勤務条件	数字	1	1:該当 2:非該当	
60	痴呆専門棟の有無	数字	1	短期入所療養介護（老人保健施設） 介護老人保健施設 の場合 1:無し 2:有り	
61	食事管理の状況	数字	1	1:管理栄養士による管理 2:栄養士による管理 3:管 理栄養士・栄養士の管理無し	
62	特別食の提供の有無	数字	1	1:無し 2:有り	
63	審査方法区分コード	数字	1	1:審査依頼 2:審査済み	
64	生活保護法による指定の有無	数字	1	1:指定無し 2:指定有り	
65	保険・公費等区分コード	数字	1	1:保険請求 2:公費請求	

項番	コード名称	属性	バイト数	内容	
78	目コード	数字	2	項コード	内容
				介護サービス等諸費	01:居宅介護サービス給付費 02:特例居宅介護サービス給付費 03:施設介護サービス給付費 04:特例施設介護サービス給付費 05:居宅介護福祉用具購入費 06:居宅介護住宅改修費 07:居宅介護サービス計画給付費 08:特例居宅介護サービス計画給付費
				支援サービス等諸費	01:居宅支援サービス給付費 02:特例居宅支援サービス給付費 03:居宅介護福祉用具購入費 04:居宅介護住宅改修費 05:居宅介護サービス計画給付費 06:特例居宅介護サービス計画給付費
				高額介護サービス等費	01:高額介護サービス費 02:高額居宅支援サービス費
				市町村特別給付費	01:市町村特別給付費
79	節コード	数字	2	01:負担金、補助及び交付金	
80	支給区分コード	数字	1	1:支給 2:不支給	
81	支払方法区分コード	数字	1	1:窓口払 2:口座払	
82	給付実績区分コード	数字	1	1:現物 2:償還	
83	給付実績情報作成区分コード	数字	1	1:新規 2:修正 3:取消	
84	公費負担上限額減額の有無	数字	1	1.無し 2.有り 生活保護受給者は2	

※詳細については「平成11年8月3日全国介護保険担当課長会議資料」の「資料No. 4 介護報酬の骨格案等について」(P.467)を参照のこと。

3.5 留意事項

3.5.1 項目設定共通事項

(1) 「年月日」欄

- ・年月日を西暦年4桁、月2桁、日2桁の半角数字で表す。
- ・月、日が1桁の場合は、それぞれ直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 1日 の場合は、“20000401”を設定する。

(2) 「年月」欄

- ・年月を西暦年4桁、月2桁の半角数字で表す。
- ・月が1桁の場合は、直前に“0”を付加して2桁にする。

(例)

2000年 4月 の場合は、“200004”を設定する。

(3) 「点数単価」欄

- ・点数の単価を整数部2桁、小数部2桁の半角数字で表す。

(例)

5.6円 の場合は、“0560”を設定する。

(4) 「摘要」欄

- ・サービス種類等に対応し、下表に示す記載事項を半角英数字で表す。

サービス種類	サービス内容 (算定項目)	摘要記載事項	備考
訪問介護	身体介護中心の 4時間以上の場 合	計画上の所用時間を分単位で記載す る。 (例)260分の場合、左詰で“260” を設定する。	4時間以上については、1回あ たりの点数の根拠を所要時間 にて示す。
	家事援助中心の 4時間以上の場 合	同上	同上
居宅療養管理 指導	薬剤師が行う場 合	居宅訪問日を記載する。 (例)6日及び20日の場合、左詰で “6,20”を設定する。	居宅を訪問して薬学的な管理 指導を行うことが算定の要件 となっている。(1月に2回限 り)
	管理栄養士が行 う場合	同上	居宅を訪問して具体的な献立 によって実技を伴う指導を行 うことが算定要件となってい る。(1月に2回限り)
	歯科衛生士等が 行う場合	同上	居宅を訪問して療養上必要な 指導として患者の口腔内での 清掃又は有床義歯の清掃に関 する実技指導を行うことが算 定要件となっている。(1月に 4回限り)
福祉用具貸与	貸与する福祉用 具の種類		
	搬入日	特別地域加算を算定する場合、福祉用 具を搬入した日付を記載する。 (例)6日の場合、左詰で“6”を設定 する。	
介護福祉施設 サービス	退所時相談援助 費(1)	家庭等への訪問日を記載する。 (例)20日の場合、左詰で“20”を設 定する。	退所後生活する家庭あるいは 他の社会福祉施設等を訪問し、 必要な相談援助を行うことが 算定の要件となっている。(入 所早期及び退所の前後に各1 回限り)
介護保健施設 サービス	退所時指導加算 (一)	同上	同上
	老人訪問看護指 示加算	訪問看護指示書の交付日を記載する。 (例)20日の場合、左詰で“20”を設 定する。	指定訪問看護ステーションに 対して、訪問看護指示書を交付 することが算定要件となってい る。(退所する者1人につき 1回限り)
介護療養施設 サービス	退院時指導加算 (一)	家庭等への訪問日を記載する。 (例)20日の場合、左詰で“20”を設 定する。	
	老人訪問看護指 示加算	訪問看護指示書の交付日を記載する。 (例)20日の場合、左詰で“20”を設 定する。	

4 帳票イメージ

〒 XXX-XXXX

NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
 NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
 NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN

NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN
 NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN 様

介護給付費等支払決定額通知書

NNZ9年Z9月 審査分として下記金額を支払決定し
 右記銀行に送金しますので通知致します。

事業所番号	9999999999
-------	------------

金額	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
----	-----------------

 NNNNNNNNNNNNNNNNNNN

 NNNNNNNNNNNNNNNNNNN

NNZ9年 Z9月 Z9日
 NNNNNNNNNNNNNNNNNNN

振込金額内訳	
介護給付費支払額	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
主治医意見書作成料	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
消費税	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
訪問調査費委託料	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
消費税	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
合計	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9

〒 123-4567

□□□県■■■市○○○-△△△

▲▲▲サービス△△△営業所
 介護 一郎 様

介護給付費等支払決定額通知書

平成12年05月 審査分として下記金額を支払決定し
 右記銀行に送金しますので通知致します。

事業所番号	11122233XX
-------	------------

金額	1,010,000
----	-----------

銀行

 支店

平成12年06月10日
 国民健康保険連合会

振込金額内訳	
介護給付費支払額	800,000
主治医意見書作成料	100,000
消費税	5,000
訪問調査費委託料	100,000
消費税	5,000
合計	1,010,000

